

群馬・相馬原

日米共同実動演習「フォレスト・ライト」

自衛隊員のコロナ感染者が7人に拡大 参加者全員のPCR検査を



危険なオスプレイを使った演習は中止を

日米共同実動演習「フォレスト・ライト」が12月7日から18日まで陸自の群馬県相馬原演習場と新潟県関山演習場で、米軍オスプレイが参加しておこなわれています。

安保破棄群馬県実行委員会は13日、演習場入り口で訓練の中止などを求める抗議行動をおこないました。この演習では12日までに参加している自衛隊員7人のコロナ感染が確認されています。同実行委員会から演習の情報やこの間のとりくみが報告されました。

☆

12日朝のマスコミ各紙は、日米共同訓練参加

の自衛隊第30普通科連隊（新潟県新発田町）から相馬原に派遣された隊員からコロナの陽性者がでたことが群馬県から発表されました。

安保破棄群馬県実行委員会は、900人もの自衛隊員、米海兵隊員の移動訓練はコロナ感染拡大の危険があると繰り返しPCR検査を行うことを要請してきました。防衛省は「体温測定や手指の消毒、ソーシャルディスタンスを守ることをしていれば大丈夫だ」と言ってきましたが、13日夜の報道では自衛隊内の感染者は7人になったそうです。PCR検査の社会的検査を広く行うことが、新型コロナウイルスを早くに発見し、保護・隔離することを明らかにしたことだと言えます。

基地内で隔離して対応しているようですが日米共同訓練は中止し、一刻も早く参加者全員のPCR検査をおこない、感染者を見つけ保護・隔離する対応が求められています。

ボーリング調査の準備開始 鹿児島・馬毛島の軍事基地化反対

米空母艦載機離着陸訓練（FCLP）の移転候補地である鹿児島県馬毛島の周辺海域でのボーリング調査について、防衛省は12月13日、機材の搬入の準備を始めました。海上ボーリング調査は栈橋などの港湾施設を造るための地盤の強度を確認するものです。仮設足場設置などで漁場が破壊されるため、地元の漁業者17人が東京地裁に調査の中止を求める仮処分を申し立てています。馬毛島を軍事基地化させないために反対しましょう。

米軍兵士とオフロード車 伊佐真次村撮影



「昨日（7日）の午

日付） ほんぶん赤旗 12月9

だ」昨日（7日）の午
確認しました。伊佐村議
らに米兵は「これは訓練
発見者から連絡を受け
た日本共産党の伊佐真次
東村議が同日午10時頃
現場に到着。米空軍所属
とみられる兵士3人とピ
ックアップトラック1
台、オフロード車2台を
確認しました。伊佐村議

現場は、小学校や村営
住宅が立ち並ぶ集落を通
り抜ける細い道沿い。伊
佐村議は、米軍の通行で
事故が起きる危険性も指
摘し「米軍は」何をやっ
ても許されると思ってい
るのではないかと厳し
く批判しました。

と話したといっています。
練をさせたらおかしい
者はやりたい放題で訓
練をさせたらおかしい
りませんでしたが、地権
場は原野で特に被害はあ
住民が発見しました。現
を同日朝、通りかかった
テントが張られているの
後に来た」と答えたとい
います。

伊佐村議らが、現場が
民有地であることを伝え
ると、兵士らは8日午前
11時ごろ立ち去りまし
た。

沖高 縄江

米軍が民有地で訓練 やりたい放題」事故の危険

お知らせ

- 12月23日（水）安保中央・東京の宣伝 新宿西口 12時～
- 1月27日（水）2021年度幹事会（総会）全労連会議室 14時～
- ※2月13日（土）2021年学習と運動交流の集い(オンライン)